



事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

| | | | |
|---|-----------|---|--------------------------|
| 講座番号 | B-62 | 講座名 | テクノロジーカフェ |
| 記載日 | 2021/4/12 | 団体名・企業名 | 公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会 |
| 〈講座全体の概要〉(300字程度) | | | |
| <p>テクノロジーカフェは、サイエンスカフェの技術者版です。カフェのようなリラックスできる空間で、現役の技術者が最先端技術について、わかりやすく解説します。</p> <p>講師の人となりも魅力の一つです。クールにプレゼンする講師、熱血講師、脱線大好きな講師、さまざまなキャラクターも、愛していただければと思います。</p> <p>環境とテクノロジーは、人類にとって切っても切れない関係です。様々なテクノロジーについて話題提供することを通じて、環境の大切さを皆で話し合えたらと思います。</p> | | | |
|  | |  | |
| ※写真 1 の説明 | | ※写真 2 の説明 | |
| 3/28 鶴田先生のテクノロジーカフェ | | テクノロジーカフェのコーヒー | |
| 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度) | | | |
| <p>中部倫理委員会の前身であるETの会は、技術者倫理の研究を通じて、技術士個人の資質向上と研鑽に助けとなることを目的として発足しました。中部倫理委員会は、そのETの会の志を継承しています。研究成果の発表を通じ、技術士の社会的認知の向上を目指しています。</p> <p>テクノロジーカフェでは、その活動の一環として、一般市民との対話を試みています。中部倫理委員会では、「テクノロジーカフェ市民実行委員」を募集しています。あなたもテクノロジーカフェの企画・運営に参加してみませんか？</p> | | | |
| 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度) | | | |
| <p>ユースケースの考え方は「技術」のニーズ、バランス感覚を含める大切な条件である事が理解できた。分かりやすく興味深い内容で大変満足した。</p> <p>日常の食品について大変分かりやすくていねに教えていただき勉強になりました。</p> <p>今回高校のプロジェクトの一貫でテクノロジーカフェに参加させていただいたのですが最初は場違いな場所に来てしまったと思ったのですが普段接しないような世代の行けや知識が聞けて、とても貴重な体験になりました！</p> <p>製鉄の歴史が学べ、大変良かった。</p> <p>ゴミの意識がうまれました。</p> | | | |

●団体紹介

| | | | |
|--|--|--------|---|
| 団体所在地 | 〒450-0002 名古屋市東区名駅5-4-14 花車ビル北館6F | | |
| 連絡担当者 | 倉地晴幸 | ウェブサイト | http://chubu-ipej.sakura.ne.jp/et/index.html |
| TEL | (052)571-7801 | FAX | (052)533-1305 |
| E-mail | g-chubu@asahi-net.email.ne.jp | 携帯電話 | 080-9117-4701 |
| 〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度) | | | |
| <p>中部倫理委員会の前身であるETの会は、技術者倫理の研究を通じて、技術士個人の資質向上と研鑽に助けとなることを目的として発足しました。中部倫理委員会は、そのETの会の志を継承しています。研究成果の発表を通じ、技術士の社会的認知の向上を目指しています。</p> <p>テクノロジーカフェでは、その活動の一環として、一般市民との対話を試みています。中部倫理委員会では、「テクノロジーカフェ市民実行委員」を募集しています。あなたもテクノロジーカフェの企画・運営に参加してみませんか？</p> | | | |

●講座開催情報

| | | | | | | |
|-----|-----|---|------|------|--------|---|
| 第一回 | 講座名 | ユースケース（使用事例）で考えよう | | 開催日 | 10月25日 | 月 |
| | 講師名 | 馬場丈典 技術士（機械） | 参加人数 | 15 名 | | |
| | 内容 | 「買ったけど使わない」「無駄なものを買って！と怒られた」なんて経験ありませんか？国際規格開発で使われるユースケース分析で問題解決しましょう。 | | | | |
| 第二回 | 講座名 | 「環境倫理と食品リサイクル」 | | 開催日 | 11月22日 | 月 |
| | 講師名 | 日比幸人 技術士（経営工学・総監） | 参加人数 | 15 名 | | |
| | 内容 | 環境課題は、対策上の倫理とその循環サイクルを無視できません。環境保全の倫理面から、化学物質、エネルギー・廃棄物の課題整理と食品環境循環について考えます。 | | | | |
| 第三回 | 講座名 | エコロジー都市 江戸 | | 開催日 | 12月20日 | 月 |
| | 講師名 | 倉地 晴幸 技術士（情報・総監） | 参加人数 | 18 名 | | |
| | 内容 | 江戸時代の都市生活は、生活様式の中にエコロジー的な要素が含まれていました。 今一度、江戸時代の生活様式を参照し、現代に生かせないか考えてみましょう。 | | | | |
| 第四回 | 講座名 | 鉄の伝来と環境問題 | | 開催日 | 2月28日 | 日 |
| | 講師名 | 犬丸 晋 技術士(金属) | 参加人数 | 15 名 | | |
| | 内容 | 金属精錬の伝来とそれに伴う過酷な作業環境から生まれた民話の紹介。 | | | | |
| 第五回 | 講座名 | ゴミ問題を踏まえ、自分ができることはなんだろう？ | | 開催日 | 3月28日 | 日 |
| | 講師名 | 鶴田 忠志 技術士(化学・応用理学・経営工学・総監) | 参加人数 | 19 名 | | |
| | 内容 | どのくらいの量のゴミが出て、どのような影響が出ているのかを踏まえて、どのようなことに取り組めるかを考えてみましょう。 | | | | |